

令和元年度 板橋区環境教育プログラム（概要）

No.96 落ち葉であそぼう！

■プログラムの概要

ねらい	親子での自然観察、葉っぱの違い（形・大きさ・色）を遊びながら観察し身近な自然に興味を持ち、落ち葉遊びに親しむ。		
分野	身近な自然		
対象	乳幼児親子		
時間	45分	実施場所	児童館の庭またはホール
使用するもの	落ち葉、ビニールプール、落ち葉を落とすための仕掛け（段ボール、バケツ、ざるなど）、ロープ、画用紙、セロハンテープ、のり、クレヨン、ブルーシート		
全体の流れ	<p>【葉っぱ集め】</p> <p>事前準備として親子で近隣の公園で落ち葉やどんぐりを拾ってくる。イチヨウやカエデ、桜や柿など色のついた落ち葉やどんぐりなど。児童館でも大量の落ち葉をストックしておく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 集めた落ち葉を使い、落ち葉プール・落ち葉の絨毯・落ち葉の吹雪などの準備をする。 ※各児童館の状況に応じたものを選び実施するとよい。 2 落ち葉プール・落ち葉の絨毯・落ち葉の吹雪など実施するもので遊ぶ。 3 落ち葉を利用して、お面や冠、落ち葉アートを作成する。 4 発表・ふりかえり 作品や気に入った落ち葉の発表や保護者が感じたことなどの共有。 		
関連プログラム・事例	No.53 すてきなかんむり作り No.78 葉っぱで仲間さがし No.89 葉っぱの手触り		
参考情報	おちばのプール 子どもの未来社 おちばきょうそう ひさかたチャイルド		

No.97 風で動くモビールを作ろう！

■プログラムの概要

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で身近な自然に目を向ける。 ・風で揺れるモビールの動きを楽しむ。 		
分野	身近な自然・エネルギー		
対象	乳幼児親子		
時間	45分	実施場所	児童館ホールなど
使用するもの	落ち葉、どんぐり、松ぼっくり、小枝、毛糸、リボン、セロハンテープ、 両面テープ、セロハンテープを切って貼りつけておくボード、 モビールを吊るす用のロープ		
全体の流れ	<p>【葉っぱ集め】</p> <p>事前準備として親子で近隣の公園で落ち葉やどんぐりを拾ってくる。イチヨウやカエデ、桜や柿など色のついた落ち葉やどんぐりなど。児童館でも落ち葉をストックしておく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 導入（モビールの見本や風に揺れる様子を紹介） 2 材料と作業の手順の説明 3 材料選び 4 モビール作り 5 発表・ふりかえり <p>作品の発表し、出来上がったモビールの動きを楽しむ。 保護者が感じたことなどを共有する。</p>		
関連プログラム・事例	No.81：かぜとなかよし No.89：葉っぱの手触り		
参考情報			

No.98 イチョウの葉っぱで、親子いきものお絵かき

■プログラムの概要

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で、イチョウなどの落ち葉を拾いながら、全身の感覚で自然に触れる。 ・集めたイチョウの葉っぱで、好きな生きもののお絵かきをしながら、親子で秋の自然を楽しむ。 		
分野	身近な自然		
対象	乳幼児親子		
時間	30～40分	実施場所	児童館ホール・園庭・公園など
使用するもの	イチョウの葉、両面テープ、色画用紙、マジック、セロハンテープ、敷物、紙芝居「イチョウの精キロリのひみつの祈」 ※紙芝居は、Webからダウンロード可。		
全体の流れ	<p>【葉っぱ集め】 事前準備として親子で近隣の公園でイチョウの葉を拾ってくる。児童館でもストックを準備しておく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 導入 今日の活動の流れとねらいの説明 2 紙芝居（対象が4～5歳児・保護者の場合のみ実施） 「イチョウの精キロリのひみつの祈」※紙芝居は、Webからダウンロード可。 3 イチョウのお絵かき（作品例をいくつか提示） 持ってきたイチョウの葉を画用紙に両面テープで貼っていく。 4 1～2歳児の場合は、合同で大きな動物の絵など（キリン・ヒマワリの花・ライオンなどなんでも可）を用意しイチョウの葉を貼って遊ぶ。 5 発表・ふりかえり 作品の発表、保護者が感じたことなどの共有をする。 		
関連プログラム・事例	No.70 イチョウの精キロリの不思議ないのり		
参考情報	NPO 法人センスオブアース作成プログラム「木の精キロリのひみつの祈り」		

No.99 葉っぱでバッグを飾りましょう！

■プログラムの概要

ねらい	自然物（落ち葉やどんぐりなど）を使ったバッグ作りを通して、親子で秋の自然を親しむ		
分野	身近な自然		
対象	乳幼児親子		
時間	30分～40分	実施場所	児童館ホールまたは部屋
使用するもの	落ち葉、どんぐり、まつぼっくり、牛乳パック、油性マジック、ビニールひも（スズランテープ）、セロハンテープ、両面テープ、ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど		
全体の流れ	<p>【葉っぱ集め】</p> <p>事前準備として親子で近隣の公園で落ち葉やどんぐりを拾ってくる。イチヨウやカエデ、桜や柿など色のついた落ち葉やどんぐりなど。児童館でも大量の落ち葉をストックしておく。</p> <p>【導入】</p> <p>1 「どんぐりころころ」や「果物列車」の歌、手遊びなどを行う。 （ペープサートなど利用）</p> <p>2 各家庭で拾ってきた落ち葉を見せ合う（拾った場所なども発表する）</p> <p>【バッグ作り】</p> <p>3 ビニールひも（スズランテープ）で保護者が三つ編み（バッグの持ち手）を作り、牛乳パックの穴に通す。</p> <p>4 親子で拾ってきた落ち葉をバッグの周りに貼っていく。5 仕上げにマスキングテープや油性マジックなどで名前を書いたり、自由に飾りつけをする。</p> <p>5 発表・ふりかえり 作品の発表と保護者が感じたことなどを共有する。</p>		
関連プログラム・事例			
参考情報			

No.100 オリジナルMY図鑑を作ろう！～葉っぱ編～

■プログラムの概要

ねらい	校庭の樹木の葉の図鑑作りを通して、身近な自然への興味を喚起するとともに自然に親しむ楽しさを味わう。		
分野	身近な自然		
対象	小学校全学年		
時間	60分程度	実施場所	校庭及び教室
使用するもの	<p>A：版画式（絵の具をつけた葉を画用紙に押し付けて形をとる。） 図鑑作り用画用紙、水彩絵具、ウレタンスポンジ、ヤレ紙（絵の具をつける時の下敷き用）、</p> <p>B：フロッタージュ式（葉の上に敷いた紙を色鉛筆でこすって形をとる。） 図鑑作り用上質紙、色鉛筆、</p> <p>C：スタンプ式（スタンプ用インクやカラー朱肉などで色を付けて葉の形をとる。） 図鑑作り用画用紙、スタンプ用インクやカラー朱肉などのスタンプ台</p> <p>ABC 共通：のり、製本テープ（ビニールテープや折り紙等でも可）。 （集められない児童がいることを想定し、葉っぱをある程度用意しておく。） （校庭の落ち葉が少量の時は、別の場所で集めた葉などで補う方法もある。）</p>		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレゼンテーション（5分） 事前に作成した見本を見せて、今日の活動について説明する。 2 製本（10分） 紙を6～8ページ程度の本に仕立てる。Bの場合はフロッタージュする際に葉っぱを挟める折り方で行くとよい。 3 校庭を散策しながら自分の好きな葉っぱを集めてくる。（15分） 落ちている葉っぱだけ集める（予め先生が採集しておくという方法もある。） 拾った葉っぱの場所や選んだ理由などエピソードをメモさせておくのもよい。 4 教室で、図鑑作りをする。（20分） A.版画の方法で葉っぱに絵の具をつけ、画用紙などに葉っぱの版画を作る。 B.紙の下の葉っぱが動かないように抑えて、色鉛筆でこする。 C.版画の方法で葉っぱにインクなどをつけ画用紙などに葉っぱの版画を作る。 できた版画に製本テープで背表紙を付けて完成。 5 振り返りと片付け（5分） 完成したマイ図鑑を見せあう。「マイ図鑑自慢大会！」などを行う。時間がなければ感想を発表し合うだけでもよい。 		
関連プログラム・事例	No.74 葉っぱでじゃんけん		
参考情報			

No.101 種ってな～に？種（実）を作って飛ばそう！

■プログラムの概要

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 種には色々な物があるが、みんな植物から出来ていて、生き物だということを知る。 風で飛んだり、回転する種（実）を紙で作って飛ばしたり、回転させて遊ぶ。 		
分野	自然観察、エコ工作		
対象	幼児・小学生		
時間	45～50分	実施場所	教室、校庭など
使用するもの	折り紙、ハサミ、ゼムクリップ、サインペン、 種（実）の写真（例：モミジ、アサガオ、ダイズ、どんぐり、マツ、ワタなど） 実物の種、珍しい種の写真（用意できれば）		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 「たねかなクイズ」をする。8種類の実物の写真などを見せる。 土に植えたらその後どうなるのか聞き、再び植物になることを写真などで見せて確認する。 風で飛ぶ種（実）があることを伝え、モミジの種の模型を作って飛ばす。 落下する時に、クルクル回る種（実）があるが、どうしたら回転するかを考え、フタバガキの種（実）の模型を回転させて遊ぶ。 ふりかえりシートに感想などを書いて発表する。 		
関連プログラム・事例			
参考情報			

No.102 色が変わる?! UV ビーズ工作

■プログラムの概要

ねらい	紫外線を身近に感じるきっかけを作る。		
分野	身近な自然		
対象	全学年		
時間	30分～40分程度	実施場所	室内（室外数分程度）
使用するもの	<p>A～D 共通：UV チェックビーズ（200粒で1500円程度）</p> <p>A：モールを使用する場合 モール・安全ピンや刺しゅう糸、フェルトなど</p> <p>B：プラバンを使用する場合 プラバン、刺しゅう糸、トースター、など</p> <p>C：アイロンビーズを使用する場合 アイロンビーズ、型枠、アイロン、ゴムひもなど</p>		
全体の流れ	<p>1 工作を楽しむ。（20分～30分） ランドセルやサブバックにつけられるように安全ピンやひもをつける。 A：モールの場合…モールで昆虫や花などを作り、目や芯の部分にUVビーズをつける。 B：プラバンの場合…下絵を使用して絵のもの、リボンなどの型にしたものなどを製作し、根付の部分にUVビーズをつける。 C：アイロンビーズの場合…プラバン同様アイロンビーズでマスコットを製作し、根付の部分にUVビーズをつける。プレスレットの場合は、ゴムひもを使用しアイロンビーズの間にUVビーズを数個入れる。</p> <p>2 完成したものを持って数分間外に出る。色が変わることで、紫外線という光線が太陽から出ていることを知る機会にする。 （日焼けするのは、紫外線・紫外線は何に使われるか…などの話を簡単に行い、興味を持てる土台を作る）</p>		
関連プログラム・事例			
参考情報			

No.103 ダンゴムシの研究

■プログラムの概要

ねらい	ダンゴムシの観察、性質をもとに身近な自然について考える。		
分野	身近な自然		
対象	全学年		
時間	1時間程度	実施場所	校庭・室内
使用するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育ケース（捕まえたダンゴムシを入れるもの） ・虫眼鏡 		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1 ダンゴムシの採集（校庭・花壇等） 2 ダンゴムシの観察 足の数・節の数・雌雄の区別等 3 ダンゴムシを飼育してみよう 飼育方法、何を食べるのかクイズ等 4 片付け 		
関連プログラム・事例			
参考情報			

No.104 地球をすくえ～ごみ減量すごろくをつくろう～

■プログラムの概要

ねらい	持続可能な循環型社会をつくりあげるためにも、ごみをへらす（Reduce）、繰り返し使う（Reuse）、再資源化する（Recycle）が求められている。3Rに関するすごろくのマスを協力して考え、つくすることで環境への見方や考え方を深める。		
分野	ごみ資源（リサイクル）		
対象	作成：3年生～6年生（1年生からでも可能） 遊び：幼児～		
時間	作業：120分 遊び…工夫：適宜	実施場所	屋内
使用するもの	台紙となる模造紙または A3 画用紙 2 枚（人数によって大きさを決める）、8cm 角程度の色紙（3色程度）、のり、セロハンテープ、はさみ、マーカー各色		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1 ごみ問題について知っていることを話し合う。 2 3R 行動について知る。 3 4～6人のグループで、自分たちで取り組める3R 行動とその反対の行動を出し合う。（ワークシートに記入） 4 すごろくの題名をつける。 5 8cm 角程度の色紙を一人に各色（3色程度）1枚配る。 6 取り組んでいる、取り組めそうな3R 行動の場合…何をするのか、いくつ進むのかを書き入れる。 7 取り組めていない3R 行動の場合…何をしたのか、いくつもどるのか、1回休む、はじめにもどるなどを書き入れる。 8 台紙にすごろく名を書き、スタートとゴールをきめる。 9 全体のバランスを考えて、配置を決めてからカードを貼る。 10 色紙と色紙の間であいているところは、マスを書き入れる。 11 サイコロとコマは手づくりでもよい。 		
関連プログラム・事例	N10 ごみはどうしたらへるのだろう N24 ごみ減量大作戦～身の回りから出されるごみについて調べてみよう～ N82 ごみについて考えよう		
参考情報	小学生のためのかんきょうリサイクル学習ホームページ「3R すごろくの作り方」 （一般社団法人産業環境管理協会資源・リサイクル促進センター） 3Rまなびあいブック（環境省）		

No.0 環境のダイバーシティ（多様性）を感じよう

■プログラムの概要

ねらい	地球の環境は、人間のためだけにあるのではない。自らも地球環境の一部であることを意識して「生き方」を考える。		
目標	人間と環境の多様性とつながりを意識する。		
分野	全分野		
対象	小学生 ～ 一般		
時間	50分	実施場所	教室など
使用するもの	<p>ワークシート（A3用紙や模造紙など）、 パソコン・プロジェクター・スクリーンを使った映像資料、新聞、教科書、図書など参加者のイメージを広げることのできる資料など</p> <p>*あくまでも一例です。ファシリテーター（促進役）の実施方法により、必要なものをご準備して実施してください。</p>		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1 予めグループ分けをしておく。（一班4～5人） 2 環境学習の意義について、なぜこの学習があるのかを伝える。 3 「環境」という言葉から思い起こすイメージを出し合う。 4 出されたイメージからグループごとにテーマを一つ選び、そのテーマについて話し合いをし、ワークシート等（作業例など）にまとめる。 5 話し合った事を、ストーリー化し、各グループ発表をする。 6 ファシリテーターは、発表を整理し「環境」の多様性について気づかせる。 7 今日感じたことを発表してもらい、ファシリテーターは、これから学ぶ様々な環境問題へと繋げていけるようまとめる。 		
関連プログラム・事例			
参考情報			